

Japan CAP Training & Action

一般社団法人 J-CAPTA

はじめに

J-CAPTA は日本で2つ目のCAPトレーニングセンターとして2009年4月に設立しました。すべての子どもたちが安心して、自分を大切な存在と感じ、自ら行動選択ができるよう、子どもの視点からの人権尊重とエンパワメントに徹した教育活動の展開と、子ども共同参画社会を目指すアクション事業活動を行っています。

東日本大震災直後の2011年3月に「不安を勇気に転ずるCAPのちから～JCAP311Project」を立ち上げ、被災・避難地域でのCAP活動支援を通して子どもの生きる力を支える取り組みを続けてきました。震災支援プロジェクトはユニセフ連携事業と311支援金により、3県の実情にあわせた活動支援を継続しています。

設立から6年が経ち、15道県のCAP実践団体と協力して開催したアクション・ネットワーク事業は7都道県8カ所9回、養成講座は14道県37回となりました。また人材養成育成のための基金を設置し、持続可能な活動を目指してトレーニングの継承が始まりました。CAPグループの参画と協働、またグループ間協力を推進し、これからの5年10年のビジョンをもち、社会的責任期におけるCAPの役割を果たしていきます。

	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度
正会員グループ数	43	44	46	46	46	46
準会員	495	500	470	513	417	439
アクション会員	38	39	51	51	51	43
支援会員	21	19	10	16	13	10
ワークショップ回数	1275	1415	1547	1534	1711	1967
参加人数	27781	31686	33198	33814	40530	49795
総会事業	富山県富山市	北海道函館市	福島県いわき市	宮城県仙台市	千葉県我孫子市	新潟県新潟市 / 北海道札幌市
参加人数	120	97	71	77	150	120/106
フインケルホー 記念フォーラム	岩手県 宮古市・山田町	宮城県仙台市	青森県弘前市	長野県長野市	東京都有楽町 朝日ホール	/
参加人数	102	39	45	62	500	/
CAPスペシャリスト養成講座	3	5	3	6	3	4
参加人数	63	112	77	114	48	69
開催地	水戸・いわき・塩尻	秋田・富山・長岡・郡 山・札幌	木更津・福島・山田町	那須・新潟・盛岡・仙 台・金沢・函館	塩尻・つがる・いわき	札幌・庄内・長野・つく ば
CAP実践者向養成講座	3	4	4	2	3	3
参加人数	65	78	86	40	70	75
開催地	秋田P・喜多方市T・千 葉TT	長野T・福島P・盛岡T・ 八戸SNP	仙台P・いわきT・金沢 P・水戸SNP	秋田T・札幌P	船橋T・上越SNP・柏 RT	盛岡P・金沢T・千葉 SNP

実践者向講座：P=就学前プログラム、T=中学生暴力防止プログラム、SNP=スペシャルニーズプログラム、RT=リーダーズ研修、TT=トレーナー養成

2014 年度ハイライト

- ▶ トレーニング養成制度の推進、トレーニングリーダーと新トレーナーが誕生
- ▶ トレーナー養成基金1年目順調
- ▶ JCAP311Project-2014、ユニセフ連携事業継続

2015 年度方針

- ▶ トレーナー養成基金事業の推進…2年目
- ▶ グループ間協力体制の整備
…ブロック会議、リーダーが活躍、プロジェクト発足
- ▶ JCAP311Project-2015の継続…ユニセフ連携事業

一般社団法人 J-CAPTA

2014 年度事業報告 (2014 年 6 月 1 日から 2015 年 5 月 31 日まで)

- ▶ トレーナー養成制度の推進…トレーニングリーダーと新トレーナーが誕生しました。トレーニングリーダーによる「CAP 普及 Project」アンケート調査が実施されました。また新トレーナーによる CAP スペシャリスト養成講座が始まりました。
- ▶ トレーナー養成基金を設置し、初年度順調にスタートしました。
- ▶ JCAP311Project-2014…ユニセフ連携事業が 2 年延長され、3 県の状況に合わせた取り組みを継続しました。
- ▶ J-CAPTA グループのワークショップ実績が、ワーク回数 140 減、参加者数 3,905 人減となりました。

1. アクション・ネットワーク事業

① 子どもの人権擁護・暴力防止に関する学習・啓発

事業名 開催日	開催地 協力グループ	テーマ 講師	参加 人数
総会記念講演会 7 月 26 日	富山県富山市／富山 CAP	「子どもを生きるということ」 講師：明橋大二、インタビュー：新田初美	120
フィンケルホー記念 フォーラム 11 月 8・9 日	岩手県宮古市・山田町／CAP リアス * JCAP311Project	「子どもの生きる力を育むー安心・自信・自由」 講師：森田ゆり	102

<コメント>山田町講演会は山田町との共催でした。

② 子どもの教育・福祉行政および人権擁護の法制度や政策への提言・活動

6 月 12-13 日	行政訪問／CAP リアス & 日本ユニセフ協会	岩手県宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市・住田町	石附木村
4 月 20 日	* ユニセフ連携事業		
4 月 6 日	学校訪問／あいつ CAP * ユニセフ連携事業	福島県塙町	木村

③ 国内および世界の子どもの人権擁護、暴力防止等類似の目的を持つ団体・個人との連携

助成・連携事業	フィリップモリス・ジャパン社	児童養護施設プログラム	2,400,000 円
	日本ユニセフ協会 (ユニセフ連携)	宮城・岩手・福島-子どもエンパワメント CAP プロジェクト-2014	6,150,000 円
講師派遣	8 月 24 日	研修／高槻市教育委員会養護教員部	大阪府高槻市 木村
	8 月 25 日	障がいのある子どもへの CAP 公開おとなワークショップ／CAP みしま・大阪	大阪市高槻市 木村
	8 月 26 日	公開おとなワークショップ／おきなわ CAP センター	沖縄県那覇市 木村
	4 月 5 日	グループ研修／CAP かながわ	神奈川県横浜市 木村
団体訪問・ 会議出席等	9 月 14-15 日	子ども虐待防止世界大会同時開催日本子ども虐待防止学会 (JaSPCAN) 名古屋大会にて、パネル展示・分科会企画発表 * ユニセフ連携事業	愛知県名古屋市 木村・石附・山根

<コメント>フィリップモリス・ジャパン社助成(CCJ と共同)は 7 年目、ユニセフ連携は 4 年目となりました。JaSPCAN のシンポジウムのテーマは「被災地での子どもへの暴力防止『CAP』の活用～J-CAPTA & 日本ユニセフ協会連携事業活動報告」、企画木村里美 (J-CAPTA)、進行新田初美 (J-CAPTA 理事長)、発表者小野道子さん (日本ユニセフ協会)、大和田綾子さん (児童家庭センター大洋、酒井完さん (会津

若松市立第一中学校)、石附幸子(J-CAPTA)で実施しました。世界大会と同時開催となり。世界 72 か国 2,400 人の参加で、デイビット・フィンケルホー博士も来日していました。

④ CAPに関する情報提供・広報

ホームページ更新	7月・5月	
ブログ更新	タイトル	アクセス
6月10日	お知らせ:J-CAPTA 総会事業のご案内	1023
7月31日	お知らせ:「CAP スペシャリスト養成講座 in 水戸」開催	1251
8月9日	報告:J-CAPTA 総会事業 in 富山、終了しました。	988
8月23日	お知らせ:「CAP 就学前プログラム養成講座 in 秋田」開催	
9月25日	お知らせ:JCAP311Project-2014 継続中	995
9月17日	2014年 報告:第20回 JsPCAN 学術集会に参加しました	
10月26日	お知らせ:森田ゆり講演会 in リアス	1062
11月16日	報告:「フィンケルホー記念フォーラム 2014in リアス」終了しました	958
11月19日	お知らせ:「中学生暴力防止プログラム養成講座 in 喜多方」開催	
12月16日	お知らせ:トレーナー養成講座 in 千葉報告	865
12月29日	2014年の終わりに	
1月26日	お知らせ:「CAP スペシャリスト養成講座 in いわき」のご案内	963
2月	(なし)	1029
3月10日	お知らせ:「2015年開催予定のJ-CAPTA 養成講座」	952
4月24日	お知らせ:「CAP スペシャリスト養成講座 in 塩尻」開催	1113
5月	(なし)	1136
メディアの掲載等	日本ユニセフ協会 ホームページ東日本大震災支援情報 日本ユニセフ協会緊急・復興支援活動4年レポート	

⑤ 子どもへの暴力防止およびCAPに関連する刊行物の出版、グッズの作成

テキスト	CAP 教職員ワークショップ冊子	増刷
	CAP スペシャリスト養成講座テキスト	増刷

2. RTC 事業

① 養成講座

講座種別	開催日	開催地/協カグループ	トレーナー(事務局)	参加人数
基礎編	6月8・9・10日	茨城県水戸市/CAP いばらき	石附・木村	受講者 16+FU 10
実践編	10月4・5日		石附	受講者 14+FU5
基礎編	1月30・31日 2月1日	福島県いわき市/CAP いわき *福島県ふくしま子ども支援センター共催	太田・矢島・(木村)	受講者 30+FU10
実践編	2月28日 3月1日		太田・矢島・(木村)	受講者 25+FU 14
基礎編	5月29・30・31日	長野県塩尻市/CAPしなの	太田・矢島・(山根)	受講者 17+FU17

プレ	8月30・31日	秋田県秋田市/CAP あきた	石附・木村	受講者 17+FU9
----	----------	----------------	-------	------------

ティーンズ	11月29・30日	福島県喜多方市／あいづCAP	石附・西野・(木村)	受講者 23+FU16
SNP	(5月31日6月1日)	(青森県八戸市／CAP わらしっこ)	(木村・(石附))	(受講者 9+FU9)
トレーナー養成	12月20日 12月21日	千葉県柏市／千葉県松戸市	石附・木村・西野・(山根)	受講者 25 受講者 7

<コメント>J-CAPTA初のトレーナー養成講座を開催しました。1日目はリーダー研修を兼ねてCAPスペシャリスト一般公開としました。また1月から新トレーナーによる養成講座を開始し、事務局からディレクターやスタッフも参加するなど事務局サポート体制も見直しました。

② スペシャリスト (SP) 研修

開催日	テーマ・講師	開催地 協力グループ	参加人数
7月27日	全体研修1「マネジメントの基本、グループ活動年数別の課題と対策」講師：川北秀人	富山県富山市 富山CAP	70
	全体研修2「CAPのリーダーシップとアクション」森田ゆり&石附幸子		
	選択研修A「川北理事に聞いてみよう～なんでも一問一答、		
	選択研修B「竹下理事の話～子どもの貧困、子どもシェルターの現場から」、 選択研修C「ゆりさんに会いたい～子どもの暴力衝動を軽減するための効*とマインドフルネス」		

<コメント>総会事業2日目にSP研修をセットしました。

③ テクニカル・アシスタンス(TA)、講師派遣等

グループ名	実施日	内容	開催地	担当
CAP リアス	6月10-12・14日	保育園教職員・保護者・子どもワークショップ	岩手県山田町	石附
	10月20-22日	保育園教職員・保護者・子どもワークショップ	岩手県山田町	石附
	10月21日	教育委員会家庭教育講座おとなワークショップ	岩手県大槌町	石附
	12月11日	保育士対象教職員ワークショップ	岩手県陸前高田市	木村
	12月12日	子ども支援者対象教職員ワークショップ	岩手県陸前高田市	木村
	2月6日	教育委員会就学前教育研修会教職員ワークショップ	岩手県住田町	木村
CAP こおりやま	6月24日	小学校子どもワークショップ	福島県浅川町	石附
	9月3日	教育委員会教職員ワークショップ	福島県矢祭町	石附
	5月27-29日	小学校 SNP ワークショップ・プレワークショップ	福島県浅川町	木村
CAP のと	8月19日	教育委員会教職員ワークショップ	石川県宝達志水町	石附
CAP ももくりさんねん	9月1日	特別支援学校教職員ワークショップ	千葉県市原市	木村
あいづCAP	2月26日	SNP 公開おとなワークショップ	福島県会津若松市	木村
	3月11-13日	小学校 SNP 子どもワークショップ	福島県会津若松市	木村
	5月20日	高校教職員ワークショップ	福島県塙町	木村
	5月25-26日	高校生ティーンズワークショップ	福島県塙町	木村
CAP みちのく	2月27日	児童養護施設職員ワークショップ	青森県弘前市	太田
	3月7-8日	児童養護施設高校生子どもワークショップ	青森県弘前市	太田
CAP いばらき	3月7日	公開グループ研修	茨城県水戸市	西野

<コメント>テクニカル・アシスタンス(TA)はトレーナーによるグループへのワークショップ支援や研修です。規定のTA講師料基準にてトレーナーを派遣しています。今年度は7グループ(昨年比-7)より要請がありました。ユニセフ連携事業ワークショップには311支援としてワーク支援隊基準にて実施しました。

④ グループ訪問

・CAP 歩歩、CAP みやぎ (4-(3)①)

⑤ フィリップモリス・ジャパン社助成事業

グループ名	施設数	WS 数	参加人数
北海道 CAP をすすめる会	2	11	139
十勝 CAP そらの駅	1	3	50
CAP むろらん	1	7	65
CAP みちのく	1	5	45
CAP あきた	2	12	169
CAP みやぎ	4	21	167
あいづ CAP	1	5	53
CAP 庄内	1	6	109
CAP いばらき	2	8	88
CAP ももくりさんねん	2	5	68
ENJOY CAP	1	4	38
CAP・にいがた	2	7	75
CAP しなの	1	4	47
CAP 里山	2	12	123
CAP ながの	7	29	303
10 道県 15 グループ	30	139	1539

<コメント>

2014年度はJ-CAPTAは総額240万円の助成を受け、10道県、15グループ、30施設、139回のワークショップを実施し、参加総人数1,539人でした。うち新規施設は、3施設、10ワークショップ、参加者数109人でした。

助成総額は前年度より110万円減でしたが、プログラム総数は3ワークショップ増となりました。J-CAPTAでは、助成を希望するすべてのグループに分配できるよう、ワークショップ実施にかかる経費について助成一律基準を設けていますが、グループからの希望が助成総額を大きく超えて寄せられたため、継続施設の交通費を上限5割支給とし、さらに自主財源の使用を働きかけました。

特長としては、①子どもワークショップ参加者数の増加(特にベーシックプログラム前年比1.2倍)、②トークタイムの参加者増加(64%)、つなげたケース16%(うち緊急介入ケース5件)、③ニーズに対応した施設職員ワークショップの実施(愛着の課題と理解、子どもの性的問題行動の理解、職員相互の気持ちの共有、様々な課題への職員間の共通理解)、④地域セミナーの継続事例4園と参加者の多様化、などがありました。一方で、グループの経験や力量の差などの課題も見られました。

参考:フィリップモリス助成は、日本全国の児童養護施設でのCAPプログラムの提供を目的に2008年より始めました。2011年からはCCJを窓口とし、両RTC間で配分額を決定し、各々のRTCの基準によりグループへ助成しています。(助成額 万円/ワーク数)

	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度	2008年度
J-CAPTA	240/139	350/136	200/93	250/78	600/208	300/123	200/67
CCJ	360/183	475/205	300/180	250/190			

3. 会議開催、ニュース発行等

① 会議の開催

会議名	実施日	開催地	担当・出席
定時総会	7月26日	富山県富山市	出席正会員数38(全43) 司会:岸順子(富山CAP)、議長:荒木寿美恵(北海道CAPをすすめる会)
理事会	7月27日・次期理事について・定時総会で出された課題について	富山県富山市	新田理事長、宮地理事、川北理事、竹之下理事、石附理事、(事務局木村、山根)
	5月24日・2014年度事業・会計状況、会員動向について報告・定時総会開催の件・トレーナー養成制度および基金の件・その他	東京都	新田理事長、川北理事、竹之下理事、石附理事、(事務局木村)
	12月21日(臨時)・トレーナーの選任について	電磁式	新田理事長・宮地理事・川北理事・竹之下理事・石附理事
監査会議	7月2日	北海道札幌市	高野監事・ディレクター木村

	7月17日	東京都	坪井監事・ディレクター石附・木村
トレーナー会議	12月1日・トレーナー養成講座他	福島県会津若松市	石附・木村・西野
事務局会議	2月10日、5月10日、5月23日		

<コメント>総会1部2部方式が定着しました。

② RTC 関連

RTC 間協力会合	3月26日・各 RTC 間の現況共有・フィリップモリス助成事業について・ティーンズ養成講座について・その他	兵庫県西宮市	木村・西野・山根
ICAP	随時メールで連絡		
その他	／		

<コメント>RTC 間協力会合(J-CAPTAとCCJの合同会議)を実施しました。世界のCAP実施国は11カ国(カナダ、クロアチア、イングランド、エストニア、日本、キルギスタン、モルドバ、スロベニア、ウクライナ、アメリカ、韓国)、日本のCAPグループは約140。

③ ニュースの発行

J-CAPTA ニュース 27号	7月7日発行	1. 活動報告 2. 総会事業案内 3-5. JCAP311Project <報告12> 6. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 28号	9月30日発行	1. 活動報告 2-3. 総会報告 4-5. 写真で見る総会事業 6-7. J-CAPTA のこだわり <その23> 8. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 29号	1月30日発行	1. 活動報告 2-3. JCAP311Project <報告13> 4. トレーナー養成事業報告 5. Q&A <第18弾> 6. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 30号	4月30日発行	1. 活動報告 2. JCAP311Project <報告14> 3. 総会案内 4. 新トレーナー紹介 5. J-CAPTA のこだわり <その24> 6. インフォメーション

④ メルマガの配信

No.122	6月4日	「子ども虐待防止世界会議名古屋2014」のご案内
No.123	6月5日	ホームページ「グループ情報更新」のお知らせ
No.124	6月9日	「総会事業 in 富山のご案内」
No.125	6月20日	トレーナー養成事業基金へのご協力をお願い
No.126	6月25日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 水戸」のお知らせ
No.127	6月28日	JCAP311Project オリジナル T シャツ予約販売のお知らせ
No.128	7月5日	「CAP 就学前プログラム養成講座 in 秋田」開催のお知らせ
No.129	7月8日	JCAP311Project オリジナル T シャツ予約販売、締切り延長のお知らせ
No.130	7月12日	「児童養護施設プログラム実施報告書」の提出をお願い
No.131	7月15日	J-CAPTA ニュース 27号発送のお知らせ
No.132	7月21日	総会直前のお知らせ
No.133	7月30日	総会事業 in 富山、終了しました
No.134	9月30日	「フィンケルホー記念フォーラム」開催のお知らせ
No.135	10月9日	「CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in 喜多方」開催のお知らせ
No.136	10月15日	「J-CAPTA ニュース 28号」発送のお知らせ
No.137	10月31日	「フィンケルホー記念フォーラム in リアス」参加申し込み延長のお知らせ
No.138	11月28日	トレーナー養成講座のご案内
No.139	12月16日	「トレーナー養成講座 in 千葉」開催間近

No.140	12月29日	2014年の終わりに～新トレーナーが内定しました～
No.141	1月14日	「CAP スペシャリスト養成講座 in いわき」のご案内
No.142	1月28日	J-CAPTA 役員募集のお知らせ
No.143	2月16日	「J-CAPTA ニュース 29 号」発送のお知らせ
No.144	2月25日	「フィリップモリス助成 2014 実施状況の確認と 2015 予備調査」のお知らせ
No.145	3月10日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 塩尻」のご案内
No.146	4月3日	「ワークショップ実施アンケート 2014」と「J-CAPTA 登録票 2015」のご提出のお願い
No.147	4月14日	フィリップモリス社助成 2015 募集のお知らせ
No.148	4月25日	トレーニングリーダーからアンケート協力をお願い
No.149	4月28日	各種提出物期限厳守のお願い
No.150	5月8日	「フィリップモリス助成 2015」申込受付の確認のお願い
No.151	5月14日	「J-CAPTA ニュース 30 号」発送しました

4. JCAP311Project-2014

ユニセフ連携事業および 311 支援金等で以下を実施した。

(1) ワークショップ提供

ユニセフ連携事業による無料ワークショップは、

- ①福島県全域と岩手県・宮城県沿岸地域のすべてのワークショップ
- ②岩手県・宮城県の行政職員・教職員・震災支援者向けのワークショップ
- ③その他支援が必要と思われるワークショップ

<3 県ワークショップ実績>

2014 年度 (4-3 月)	合計		子ども		おとな		実施地域
	ワーク数	参加者数	ワーク数	参加者数	ワーク数	参加者数	
岩手県	32 (14)	453 (198)	13 (4)	133 (64)	19 (10)	320 (134)	盛岡市、岩手町、一関市、山田町、大槌町、陸前高田市、住田町
宮城県	56 (19)	892 (372)	25 (7)	267 (97)	31 (12)	625 (275)	仙台市、東松島市、石巻市、大河原町、名取市、気仙沼市、岩沼市、石巻市、
福島県	164 (159)	3805 (3636)	99 (99)	2185 (2185)	65 (60)	1620 (1451)	福島市、伊達市、鏡石町、郡山市、浅川町、西郷村、矢祭町、会津若松市、南会津町、耶麻地区、根津町、喜多方市、いわき市、
2014 年度	252 (192)	5150 (4206)	137 (110)	2585 (2346)	115 (82)	2565 (1860)	* 福島県のワーク回数 2011 年度比 4.4 倍、子ども参加者数 2011 年度比 8.7 倍
2013 年度	302	6814	151	3416	151	3398	* ワーク回数 2011 年度比 2.2 倍
2012 年度	240	5071	107	2207	133	2864	* ワーク回数 2011 年度比 1.8 倍
2011 年度	136	3149	67	1538	69	1611	/

* () はユニセフ連携事業で実施したワークショップ。費用の一部支援を含む。

(2) 人材養成育成

① CAP スペシャリスト養成講座の開催(2-①) * 福島県子どもの心のケア事業

② フォローアップ学習会の開催

項目	テーマ	参加者	担当
3月15日 福島県郡山市	子どもワークショップ小学生版完全読解	福島県内グループ 22人	木村

(3) CAP グループへの運営・物資・人的援助

① 311 ミーティングの開催

	実施日	開催地	参加者	担当
岩手県 311 ミーティング	4月19日	岩手県宮古市	CAP 岩手 3人、CAP リアス 10人、岩手県ユニセフ協会 1人、日本ユニセフ協会 1人	竹之下理事 木村
宮城県 311 ミーティング	5月9日	宮城県仙台市	グループ訪問:CAP 歩歩 6人	石附・木村 木村
	5月19日	宮城県仙台市	グループ訪問:CAP みやぎ 2人	
福島県 311 ミーティング	5月10日	福島県郡山市	こども CAP ふくしま 2人、あいづ CAP4人、CAP いわき 3人、CAP こおりやま 6人、日本ユニセフ協会 1人	石附・木村

② ワーク応援隊の派遣

・3県グループへのトレーナー派遣(2-③)は、ワーク応援隊手当基準にて実施した。

③ グッズの頒布

・ユニセフ連携事業ワークショップで、J-CAPTA&ユニセフ共同作成「きってあってCAP」「CAP読本」および「CAP教職員ワークショップ冊子」を無料頒布。

④ 広報支援

- ・広報グッズ(J-CAPTAフリーペーパー、CAP 児童養護施設プログラムパンフレット、障がいのある子どもへのCAPパンフレット)提供、3県共通ワークショップ無料チラシ印刷
- ・行政・関係機関訪問や広報活動への同行(1-②)および交通費支援

⑤ 沿岸地域グループ「CAPリアス」への支援

・講演会の開催 11月8-9日森田ゆり講演会 *フィンケルホー記念フォーラム事業

⑥ JCAP311Project3年完了報告会の実施

・7月26日(総会事業)

報告者:CAP 岩手、CAP みやぎ、CAP こおりやま、こどもCAP ふくしま、CAP いわき、あいづ CAP

(4) 「311 支援金」継続

・養成講座会場等でのグッズ販売カンパ等

報告：311 支援金収支報告（2011 年プロジェクト発足から 2015 年 5 月まで）

	2014 年度	2013 年度	2012 年度	2011 年度	2011 年 3-5 月
収入	1,099,876	392,480	820,067	2,507,822	150,000
(内訳)	寄付 461,132 Tシャツ・グッズ販売カ ンパ 609,412 3 年報告会参加費 29,300 預金利息 32	寄付 117,000 Tシャツ・グッズ販売カ ンパ 275,465 預金利息 15	寄付 385,450 Tシャツ・グッズ販売カ ンパ 434,603 預金利息 14	寄付 1,536,646 Tシャツ・グッズ販売カ ンパ 971,176	寄付 150,000
支出	806,286	765,582	673,999	1,942,499	
(内訳)	ワーク支援 0 3 年報告会交通費会場 費等 168,923 リアス講演会関連 176,845 Tシャツ制作・冊子購入 459,600 振込手数料 918	ワーク支援 716,375 311 ミーティング交通 費会場費等 14,040 消耗品 28,389 送料・振込手数料 6,778	ワーク支援 60,000 311 ミーティング交通 費会場費等 390,255 Tシャツ制作 200,000 送料・振込手数料 23,744	ワーク支援 399,778 物品支援 89,800 311 ミーティング交通 費会場費等 398,095 Tシャツ等制作 1,020,000 送料・振込手数料 34,826	
残高	293,590	-373,102	146,068	565,323	150,000
前期繰越	488,289※	711,391	565,323	0	0
翌期繰越	781,879	338,289	711,391	565,323	150,000
※2011 年度の前期繰越が過少であったため 2014 年度において残高修正しております。					

<コメント>2011 年から始まったユニセフ連携事業は当初 3 年計画でしたが、2 年延長され、4 年目の 2014 年度は福島県・岩手県・宮城県
の各県ごとの取り組みとなりました。J-CAPTA は事業を円滑に推進するために、これまで通りに日本ユニセフ協会との窓口となり、3 県
CAP グループの支援と連携に努めました。

311 支援金は、寄付金や 311T シャツやグッズの販売、養成講座会場等でのカンパです。3 県内の CAP ワークショップやワーク応援隊
旅費、311 ミーティングやグループのニーズによるイベント、3 県グループへのグッズ等の送料等に使いました。

5. トレーナー養成基金事業

① 経過

7 月 27 日	「トレーナー養成制度に関する再修正案(2014 年 4 月)」に基づき、4 ブロックより 9 人のトレーニングリー ダーが選出された
	4 回トレーニングリーダー指定研修&ミーティングを実施
12 月 21 日	トレーニングリーダーからトレーナーを募集し、新トレーナー 4 人を選任した
1 月～	CAP スペシャリスト養成講座(基礎編・実践編)を新トレーナーが担当
2 月 10 日	新トレーナー研修実施
5 月	トレーニングリーダーによる「CAP 普及のためのプロジェクト」アンケートの実施

② 財源

トレーナー養成基金を設置し、会員へ寄付の協力をお願いした。

正会員 34 グループより 507,000 円、個人(20 人)・団体(2)より 1,527,600 円の、合計 2,034,600 円の寄付が集まった。

初年度はトレーニングリーダーと新トレーナーの、指定研修&ミーティング参加のための旅費半額を補助した。

<寄付者一覧> 別紙 <支出内訳> 別紙

6. 一般社団法人 J-CAPTA 2015 年 5 月 31 日

CAP グループ

北海道地域 (7グループ)	〈北海道〉 函館YWCA・CAPグループ、CAP・みなみ北海道、北海道CAPをすすめる会 CAPあさひかわ、CAPオホーツク、十勝CAPそらの駅、CAPむろらん
東北地域 (16グループ)	〈青森県〉 CAPわらしっこ、CAPネット青い森、CAPつがる、CAP みちのく、 〈岩手県〉 CAP岩手、CAP リアス、 〈宮城県〉 CAPみやぎ、「こどものあんしん・じしん・じゆう」を考えるCAPの会、CAP 歩歩、 〈秋田県〉 CAPあきた、 〈山形県〉 CAPやまがた、CAP庄内、 〈福島県〉 こどもCAPふくしま、CAPこおりやま、あいづCAP、CAPいわき
中部地域 (11グループ)	〈新潟県〉 CAP・じょうえつ、NPO法人子ども・人権ネットCAP・にいがた、 〈富山県〉 CAPたかおか、富山CAP、 〈石川県〉 子どものけんりCAPいしかわ、CAPのと、CAP 兼六、 〈長野県〉 CAP里山、CAPながの、CAPしなの、CAPかたつむり
北関東地域 (8グループ)	〈茨城県〉 CAPいばらき、 〈栃木県〉 子どもの人権「CAP」なす、 〈群馬県〉 NPO法人エンパワメントぐんま 〈千葉県〉 CAPぽけっと、CAPなのはな、ENJOY CAP、あわCAP、CAPももくりさんねん
アクション会員	CAP みしま大阪

会員・役員等

会 員	正会員:42グループ 準会員:484人、アクション会員:38人、支援会員:21人
寄 付	個人:7人、団体:2
311 支援金寄付	個人:3人、団体:1、その他:事業開催会場、養成講座会場・JaSPCAN 会場
役 員	(代表理事) 理事長 新田初美 (代表理事) 石附幸子 (理 事) 宮地廸彦 川北秀人 竹之下典祥 (監 事) 坪井節子 高野真砂子
トレーナー	森田ゆり 石附幸子 木村里美 西野緑 太田美津子 小貫松江 田中明子 矢島宏美
事務局	チーフディレクター 木村里美 トレーニングディレクター 石附幸子 事務局スタッフ 山根若子 事務局ボランティア

＜ワークショップ実績＞

ワークショップ集計	子どもワーク		おとなワーク		合計		備考 グループ数
	回数	人数	回数	人数	ワーク数	参加者数	
全国合計 (1997-2014)	109,003	3,148,171	56,444	1,916,252	165,447	5,064,423	130
J-CAPTA 2014年4-3月	716	14,708	559	13,073	1,275	27,781	43